

東

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 NCホールディングス株式会社 上場取引所 コード番号 6236 URL http://www.nc-hd.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶原 浩規

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村田 秀和 (TEL) 03-6625-0001

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 :無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

(10)23107							20.3.10.4	2 12 2 1 1 2 2 - 1 2	A1. 11 WAA 1 V	<u> </u>
		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%]
	2023年3月期第1四半期	3, 601	48. 3	69	_	52	_	18	_	
	2022年3月期第1四半期	2, 429	△19.6	△133	_	△324	_	△257	_	
	(注)包括利益 2023年3月	期第1四半期	△67	5万円(-	-%) 202	22年3月期第	1四半期	△343百万	円(%)

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 △6百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 △343百万円(

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	4. 24	_
2022年3月期第1四半期	△40. 37	_

(2) 連結財政状態

(2) 连帕对欧代志							
	総資産	純資産	自己資本比率				
	百万円	百万円	%				
2023年3月期第1四半期	13, 866	7, 172	51. 7				
2022年3月期	14, 613	7, 242	49. 6				

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,172百万円 2022年3月期 7,242百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期 2023年3月期	円 銭 — —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00			
2023年3月期(予想)		0.00	_	15. 00	15. 00			

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業	利益	経常	利益	親会社株 する当期	主に帰属]純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14, 000	4. 4	650	5. 4	650	△7.9	400	△3.6	93. 33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	4, 685, 745株	2022年3月期	4, 685, 745株
2023年3月期1Q	400, 022株	2022年3月期	400, 022株
2023年3月期1Q	4, 285, 723株	2022年3月期1Q	6, 373, 276株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本文書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。行政予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(セグメント情報等)	8
3.	補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が 判断したものであります。

経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による国内の行動制限は緩和されたものの、変異株による感染再拡大、中国国内のゼロコロナ政策によるロックダウンやウクライナ問題の長期化を背景としたサプライチェーンへの影響による原材料の不足及び価格の高騰、円安の急速な進行等により不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、コンベヤ関連で契約が遅れている案件があるものの、立体駐車場関連、再生エネルギー関連は順調であったことから受注高は3,364,571千円(前年同四半期比35.0%増)、コンベヤ設備の納入、補修工事が順調に進んだことに加え、再生エネルギー関連の機器販売が増加したことにより、売上高は3,601,123千円(前年同四半期比48.3%増)となりました。損益面につきましては、コスト削減、経費の圧縮などの推進、生産高増加による操業差損の減少等により営業利益69,148千円(前年同四半期営業損失133,846千円)、受取配当金等の計上や手数料の発生等により経常利益は52,323千円(前年同四半期経常損失324,390千円)、繰延税金資産取崩による法人税等調整額の発生により親会社株主に帰属する四半期純利益は18,190千円(前年同四半期純損失257,267千円)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

[コンベヤ関連]

コンベヤ関連では、受注高は主に部品関係の受注により383,518千円(前年同四半期比27.8%減)、石炭火力発電所向、石灰石運搬用各新設設備の納入、製鉄所設備補修工事、保守部品の販売が順調であったことにより、売上高は1,447,217千円(前年同四半期比113.9%増)、セグメント利益は61,999千円(前年同四半期セグメント損失9,144千円)となりました。

[立体駐車装置関連]

立体駐車装置関連では、受注高は、タワー式立体駐車装置、メンテナンス関連で1,819,997千円(前年同四半期比45.2%増)、新設工事の納入は前年同期よりも減少しましたが、メンテナンス、保全工事ともに順調に推移したことにより売上高は1,316,807千円(前年同四半期比0.7%減)、セグメント利益は111,190千円(前年同四半期比23.6%増)となりました。

[再生エネルギー関連]

再生エネルギー関連は、太陽光発電用機器の受注、販売が大幅に増加したことにより受注高は1,161,055千円(前年同四半期比63.9%増)、売上高は837,098千円(前年同四半期比96.7%増)、セグメント利益65,535千円(前年同四半期セグメント損失9,884千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度と比較して746,907千円減少の13,866,834千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が846,383千円、製品が186,429千円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度と比較して676,419千円減少の6,694,539千円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が398,696千円、短期借入金が300,000千円減少したことによるものです。純資産は、前連結会計年度と比較して70,487千円減少の7,172,294千円となりました。内訳は、配当金の支払及び四半期純利益計上により利益剰余金が46,095千円、有価証券評価差額金が24,391千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループをとりまく経済環境は、新型コロナウイルス感染症による国内の行動制限は緩和されたものの、変異株による感染再拡大、中国国内のゼロコロナ政策によるロックダウンやウクライナ問題の長期化を背景としたサプライチェーンへの影響による原材料の不足及び価格の高騰、円安の急速な進行等により不透明な状況が続いております。このような環境下ではありますが、第2四半期以降は立体駐車装置の新設工事、コンベヤ新設設備の納入、立体駐車装置のメンテナンスも堅調に推移する見込みであることから、2022年5月13日発表の当期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 720, 851	4, 874, 468
受取手形、売掛金及び契約資産	3, 560, 063	3, 550, 814
電子記録債権	157, 937	300, 709
製品	419, 397	232, 968
仕掛品	408, 297	465, 312
開発事業等支出金	440, 448	440, 391
原材料及び貯蔵品	521, 260	579, 343
その他	421, 845	495, 064
貸倒引当金	△17, 318	△18, 317
流動資産合計	11, 632, 782	10, 920, 754
固定資産		
有形固定資産	1, 055, 804	1, 112, 477
無形固定資産		
のれん	148, 047	134, 588
その他	89, 669	80, 915
無形固定資産合計	237, 717	215, 504
投資その他の資産		
投資有価証券	810, 425	751, 075
その他	956, 753	948, 933
貸倒引当金	△79, 741	△81, 911
投資その他の資産合計	1, 687, 437	1, 618, 097
固定資産合計	2, 980, 959	2, 946, 079
資産合計	14, 613, 741	13, 866, 834
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 233, 084	1, 834, 388
電子記録債務	572, 154	995, 322
短期借入金	900,000	600, 000
1年内償還予定の社債	10,000	10, 000
1年内返済予定の長期借入金	199, 992	199, 992
未払法人税等	97, 762	42, 429
契約負債	740, 751	544, 411
賞与引当金	153, 543	44, 744
完成工事補償引当金	87, 000	86, 000
工事損失引当金	209, 086	173, 000
移転損失引当金	26, 560	26, 560
その他	421, 264	502, 982
流動負債合計	5, 651, 200	5, 059, 832
固定負債	0,001,200	5, 059, 652
長期借入金	299 529	979 595
	322, 533	272, 535
退職給付に係る負債	920, 783	901, 824
移転損失引当金	166, 271	159, 544
その他 田字色体 全計	310, 171	300, 803
固定負債合計	1,719,759	1, 634, 707
負債合計	7, 370, 959	6, 694, 539

1331			_	-		1
(畄)	177	•	-	_	щ	١)

		<u> </u>
	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 800, 000	3, 800, 000
利益剰余金	3, 554, 273	3, 508, 178
自己株式	△358, 014	△358, 014
株主資本合計	6, 996, 259	6, 950, 163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207, 214	182, 822
土地再評価差額金	39, 308	39, 308
その他の包括利益累計額合計	246, 523	222, 131
純資産合計	7, 242, 782	7, 172, 294
負債純資産合計	14, 613, 741	13, 866, 834
_		

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2, 429, 018	3, 601, 123
売上原価	1, 999, 087	2, 996, 230
売上総利益	429, 930	604, 893
販売費及び一般管理費	563, 777	535, 744
営業利益又は営業損失(△)	△133, 846	69, 148
営業外収益		
受取利息	220	77
受取配当金	24, 792	11, 878
有価証券売却益	3, 126	1, 968
持分法による投資利益	444	1, 598
その他	6, 282	6, 696
営業外収益合計	34, 867	22, 219
営業外費用		
支払利息	1, 592	1, 768
有価証券売却損	365	223
アドバイザリー費用	219,000	30, 000
その他	4, 452	7, 053
営業外費用合計	225, 410	39, 044
経常利益又は経常損失(△)	△324, 390	52, 323
特別利益		
投資有価証券売却益	-	19, 589
特別利益合計	_	19, 589
特別損失		
固定資産処分損	109	1, 185
施設利用会員権売却損	187	-
特別損失合計	296	1, 185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△324, 687	70, 726
法人税等	△67, 419	52, 536
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△257, 267	18, 190
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△257, 267	18, 190

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△257, 267	18, 190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85, 927	△24, 391
その他の包括利益合計	 △85, 927	△24, 391
四半期包括利益	 △343, 195	△6, 201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△343, 195	△6, 201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

					(+	(半位・17/	
	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計		
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	再生エネル ギー関連	пн	(注) 1	算書計上 額(注) 2	
売上高							
外部顧客への売上高	676, 688	1, 326, 669	425, 660	2, 429, 018	_	2, 429, 018	
セグメント間の内部売上 高又は振替高	_	_		_	_	_	
計	676, 688	1, 326, 669	425, 660	2, 429, 018	_	2, 429, 018	
セグメント利益又は損失(△)	△9, 144	89, 933	△9, 884	70, 904	△204, 751	△133, 846	

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△204,751千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 コンベヤ 関連	会告セグメン 立体駐車 装置関連	ト 再生エネル ギー関連	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1, 447, 217	1, 316, 807	837, 098	3, 601, 123	_	3, 601, 123
セグメント間の内部売上 高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	1, 447, 217	1, 316, 807	837, 098	3, 601, 123	_	3, 601, 123
セグメント利益	61, 999	111, 190	65, 535	238, 725	△169, 577	69, 148

- (注) 1 セグメント利益の調整額△169,577千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)	
コンベヤ関連	1, 447, 217	+113.9	
立体駐車装置関連	1, 316, 807	△0. 7	
再生エネルギー関連	837, 098	+96. 7	
合計	3, 601, 123	+48. 3	

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 - 2. 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	383, 518	△27.8	6, 467, 052	△38. 6
立体駐車装置関連	1, 819, 997	+45. 2	7, 804, 827	+24.6
再生エネルギー関連	1, 161, 055	+63. 9	1, 630, 926	+35.4
合計	3, 364, 571	+35. 0	15, 902, 805	△11.6

⁽注) セグメント間取引については、相殺消去しております。